

障害とは、自立・自律とは何か？日本の障害者政策に欠けるものは何か？

講義目的・到達目標

国際比較手法の基礎知識

比較とは何か、比較の目的と方法に関する基礎知識を習得する。

障害者政策に関する日本とスウェーデン二国間比較

障害者自立支援法は形だけの改正で終わり、根本的な障害者制度改革には至っていない。日本は2014年1月ようやく国連障害者権利条約（2006年）を批准したが、スウェーデンでは他の先進諸国より一足先に施設全廃を実現し、障害者が自立して地域で普通の生活を営むことができる共生社会をつくりあげてきた。障害者政策への取り組みが国によって大きく異なるのはなぜか？スウェーデンの障害者政策を基軸として、障害や自立・自律に関する国家の考え方や国家責務の在り方を考察し、日本の障害者政策を批判的に検証する。

講義の構成

講義の流れ

まず、講義の目的と目標を明確にするとともに、講義の進め方を確認する。次に、比較とは何か、比較の目的と手法を学ぶ。続いて、障害者政策の重要な概念である障害と自立について考察する。これらの概念について、スウェーデンがどのように考え、障害者政策を実現してきたのか、その歴史的発展を学ぶ。さらに、障害者政策の背景をなすスウェーデン福祉国家とは何かを考察する。最後に、スウェーデンとの比較により、日本の障害者政策とその背景をなす社会保障制度の特徴を明確にする。日本の障害者政策の歴史的発展を詳細に学ぶために、障害者政策や障害者運動にかかわってきた専門家によるゲスト講義を実施する。

1 講義の目的と目標・講義の進め方

2 比較とは何か、
比較の目的と比較手法

3 障害と自立の定義

4 スウェーデンの障害に関する考え方

5 スウェーデンの障害者政策の
歴史的発展と福祉国家

6 日本の障害者政策と社会保障制度

講義のポイント

知識を暗記するのではなく、批判的検証力を各自が身につけることを重視する。批判的検証に必要な「各自が考える作業」と「根拠ある見解」を生成するために、担当教員が出す課題についてグループ討議を行い、各グループが発表し、発表結果を担当教員が整理し、理論化する方法をとる。したがって、履修者の積極的な授業参加が要求される。

受講するにあたって

- ①事前学習の
すすめ 日本¹の社会保障制度と障害者制度（障害者自立支援法など）の基礎知識を学習しておくこと。
- ②参考図書 社会政策や社会保障制度の基礎知識習得のために、訓覇法子『アプローチとしての社会福祉システム論』法律文化社、『社会福祉システム論』日本福祉大学通信教育部テキスト
- ③評価基準 グループ討議への積極的参加を評価に加える。講義2日目の終わりに、1時間の筆記試験を実施する（持ち込み不可）。評価は、講義内容の正確な理解力と批判的検証による考察力を重視する。
- ④より学びを
深めるために 2日間の講義では十分内容を理解することは難しいために、担当教員が適切であると考えられる参考文献を指定し、資料を配付する。自分の理解が正しかったかどうか確かめるために必読すること。